平成28年度 管内事業

最近の土地改良事業予算の傾向として、TPP合意を展望した中で、国際化に向けた農業の競争力強化のための基盤整備と、国土の強靭化に資する防災・減災事業にウェイトを置いてきています。こうした状況の中、平成28年度における当改良区管内の各種事業について割当が示され、それらに基づき本年度の事業を進めてまいります。

【県営事業】

地盤沈下対策事業は、新潟南部８期地区として引き続き阿賀用水路・天野排水路の改修を進めるほか、新規地区である亀田郷阿賀地区を本年度より着手します。

基幹水利施設ストックマネジメント事業亀田郷地区は厳しい予算割当となりましたが、丸山排水路の工事推進、また、本所排水路・糸魚堀排水路の早期着手に向け事業を進めてまいります。

平成20年度より実施してきた流域水質保全機能増進事業亀田郷第２（１期）地区は、平成27年度で本体工事が完了し、本年度、水質調査等を実施して事業完了となります。ほか県営事業では、沢海揚水機場の樋門・樋管を補修する河川応急対策事業沢海揚水機場地区の実施設計を行います。

【団体営事業】

水利施設の整備事業として、基幹水利施設ストックマネジメント事業二本木排水路地区及び地域農業水利施設ストックマネジメント事業海老ヶ瀬地区を継続実施します。海老ヶ瀬地区は本年度完了予定です。農業水利施設保全合理化事業の施設整備事業は、揚水機場のTC／TM装置を改修する亀田郷水管理システム地区と、四ヶ字用水路（久蔵興野用水路）に制水弁を設置する久蔵興野地区の２地区を実施します。

調査計画事業では、農業水利施設保全合理化事業の施設計画策定事業として、亀田郷第３・第４地区に続き亀田郷第５地区を立ち上げ、新規事業地区の早期事業化に向けた調査・計画策定を推進します。農村地域防災減災事業の調査計画事業では、亀田郷２期地区として農道橋の耐震診断を行い、土地改良施設の防災減災機能の維持・監視に努めます。また、施設の安全対策の一環として、農業水利施設安全対策推進事業二本木排水路地区により転落防止柵を設置し、新興住宅街における水路の安全対策の強化を図ります。

農地整備事業は、農業基盤整備促進事業の定額助成による簡易圃場整備に多くの要望をいただいている状況ですが、現状、予算の十分な割当が期待できる状況にありません。農地耕作条件改善事業については、国の予算額に大幅な伸びは無かったものの、農地中間管理機構を事業主体とした枠組みが構築されたところであり、当改良区としては当面、集落レベルでの担い手集積を通じて、機構による事業推進を図るとともに、旧来の農業基盤整備促進事業で補完する形で地元要望に応えていきたいと考えております。なお、より確実に高度な生産基盤整備を進めるには、ほ場整備事業の導入が効果的です。地元でのご検討をお願いいたします。

【維持管理事業・その他事業】

国営造成施設管理体制整備促進事業阿賀野川左岸地区では、地域における用排水管理の高度化と維持管理活動の体制強化をはかり、維持管理費の負担軽減につなげます。

土地改良施設維持管理適正化事業は、主に揚排水機場の定期的な補修整備に対応するため、計画的に加入・施工を行っております。本年度は茗荷谷揚水機場・蔵岡揚水機場の修繕を実施します。

多面的機能支払い交付金については、本年度より支援業務を改良区が受託することとなり、支援室の設置など地元活動組織との連携を強化し、事業の円滑な推進に努めます。

ほか、機場管理、浄化用水・環境用水の導入、用排水路移設補償工事等、県・市との協力連携のもと事業を推進するとともに、太陽光発電事業等、改良区の負担軽減を図りながら、時代の要請に応える事業への取組を進めてまいります。

亀田郷用水情報提供のお知らせ

亀田郷土地改良区では、パソコン・携帯電話を使った用水情報の提供を行っております。本田用水の開始時期や中干し、間断運転等のお知らせから、天候等による用水運転の停止や開始状況等、水系毎の用水情報を随時更新いたします。

ご利用頂くための手続きは必要ありません。パソコン・携帯電話をお持ちの方なら、どなたでもごらん頂くことができます。

パソコンからは　http://www.kamedagou.jp/keikaku/

携帯電話からは　http://www.kamedagou.jp/i/keikaku/